

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 京都奉製株式会社 織工房新築工事 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 京都府与謝郡与謝野町三河内823番地 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 指定なし | 平均居住人員 | 45 人 |
| 地域区分 | 5地域 | 年間使用時間 | 2,940 時間/年 |
| 建物用途 | 事務所、工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2016年7月 予定 | 評価の実施日 | 2016年3月18日 |
| 敷地面積 | 1,445 m ² | 作成者 | 株式会社山寅組 |
| 建築面積 | 1,070 m ² | 確認日 | - |
| 延床面積 | 2,140 m ² | 確認者 | - |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記+②以外の 86%
④上記+ 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|-------------------------------------|---|
| 総合 | | その他 |
| 汎用性が高く耐用年数の長い材料を採用することで、建物の持続性を維持することに配慮している。 | | - |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境(敷地内) |
| ほぼ全面的にF☆☆☆☆の材料を使用することや適切な換気計画とすることで、室内空気質環境に配慮している。 | 耐用年数の長い材料や防汚性材等を採用し、建物の維持管理に配慮している。 | 視線を遮るような連続した塀等を設けず、周囲からの見通しをよくすることで、防犯性に配慮している。 |
| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
| 屋根断熱や複層窓等により外皮性能を向上させると共に、LED照明等により設備システムの効率化を計画することにより、材料消費を低減させることに配慮している。 | 節水型器具を採用することにより、水資源の保護に配慮している。 | 大気汚染防止に配慮し、燃焼設備を採用していない。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される